

「いっしょに考えよう～いじめ問題～」

◎あなたのお子さんはどのタイプ？

- ・いじめている子に、そんなことやめろと言う
- ・直接は言えないけれど誰かに相談してみる
- ・いじめられている子かわいそう。でも何も言えない

.....



◎いじめに気がついたら、あなたはどうしますか？

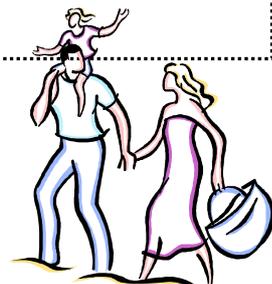
◎子どものサインだ！と思ったのはどんなとき？

◎子どもとどんなにかかわりをしていますか？

最近のいじめの特徴をご存知でしょうか。

- ・誰もがいじめる側、いじめられる側どちらの立場にもなり得ること
- ・動機があいまいで罪の意識のないことが多い
- ・家でも学校でもいじめが見つかりにくくなっている

- ★ 親に心配をかけたくなって言えない。
- ★ 友達を助けてあげたいけど仕返しが怖くて言えない。
- ★ 「冗談で」「遊びで」「ちょっとふざけて」…上手にごまかされている…等々です。



今年、いじめにより自らの尊い命を絶つという悲しいできごとが相次ぎ、社会問題として大きく取り上げられることがありました。本校でも、今まで以上にこの問題を深刻に受けとめ、いじめの解決、根絶に努めてまいりましたが、解決するのはいじめられている本人ではなく、私たち周りの人間です。

「だいじょうぶ」と言いながらも心の叫びをあらわせず、苦しんでいる子がいます。時として、いじめている子自身が課題を抱えている場合もあるようです。

話しかけてもぼんやりしている、何となく考えごとをしているときが多い、弟・妹・家族に八つ当たりする、言葉遣いが乱暴になった・・・もしかしたら、**子どもからのサインかもしれません。**そんなとき、どう対処したらいいのか。

本日、四日市市教育委員会が作成した、**いっしょに考えよう～いじめ問題～(保護者編)**のリーフレットを、生徒の皆さんに配布しました。

ぜひ、このリーフレットをご家庭でお読みいただき、裏面の**「大切にしたいポイント～今、家庭でできること」**を参考に、話し合ってみてください。詳しいことはリーフレットに掲載されています。

西陵中は“いじめは、どの学校にも、どの子にも起こりうる”という認識に立ち、“いじめは絶対にゆるされない行為である”という姿勢で取り組みます。また、人の心の痛みがわかる人間、思いやりのある人を育てていきたいと考えています。

家庭・地域・学校が一体となって、いじめを根絶させましょう。

大切にしたいポイント～今、家庭でできること

◎子どものサインは？

話しかけてもぼんやりしている、何となく考えごとをしているときが多い、弟・妹・家族に八つ当たりする、言葉遣いが乱暴になった・・・

リーフレットには様々な子どもからのサインが掲載されています。子どもの態度や様子の変化を、周りの人と協力して、子どもからのサインを見逃さないようにしましょう。



◎子どもの変化に気づいたら・・・

☆普段から、子どもと話ができる関係が大切です。

・いじめられている子どもは、大変傷ついています。

☆まず、子どもに寄り添い、じっくり話を聞きましょう。

・家庭だけで抱え込まず、学校や相談機関に相談しましょう。

☆相談機関がリーフレットに掲載されています。

・いじめている子どもも、いろいろな課題を抱えている場合があります。

しかし、いじめという行為は絶対にいけないという姿勢はとても大切です。

あわせて、いじめている子も苦しんでいること、いじめを見て苦しんでいる子もいることを話し合っていきましょう。

☆いじめは、人権を侵害する行為です。外国人差別、女性差別、部落差別など様々な人権課題や差別自称につながる問題です。